

5 行財政に関する疑問にお答えします



Q1. 子育て・教育、福祉の充実を行っていますが、市の財政は大丈夫ですか？

A1. 子育て・教育、福祉の充実、少子・高齢化や地方分権の進展などの経済・社会環境の変化や、厳しい財政事情に対応しながら「元気発進！北九州プラン」に基づき、計画的に実施しているところです。

その計画を実施するため、行財政改革を含む今後の市政の運営方針である「北九州市経営プラン」を平成20年度に策定しました。

このプランに基づき、事業の「選択と集中」や経営改革を着実に進めた結果、平成22年度決算で単年度収支均衡の財政運営を実現しました。

しかし、高齢化の進展に伴う福祉・医療費の増加などにより、今後も厳しい財政状況が続くことが予想されるため、更なる行財政改革の推進が必要です。

そのため、平成26年度から実施する行財政改革のための新たな計画を策定しているところです。



Q2. 道路や空港、市街地などが整備されて便利な住みやすい街になったけど、そのために増えてしまった北九州市の借金は大丈夫ですか？

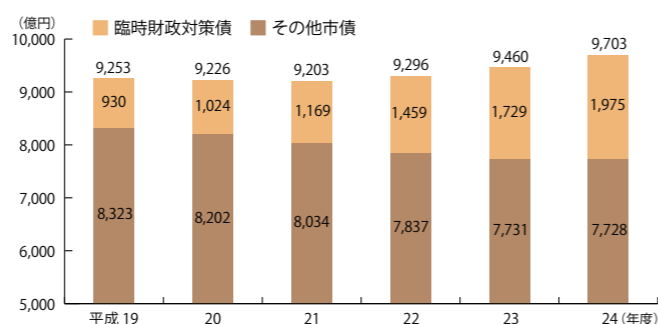
A2. 市債の管理においては、事業の「選択と集中」を図り、市債の借入と償還のバランスを考慮しながら、将来世代の負担が過大にならないよう努めてきました。

そのことにより、公共事業等の借金の残高は近年、7,000億円台で推移しています。

一方、臨時財政対策債という地方交付税の代わりに借金も含めた合計は増加していますが、この借金は後年に国が地方交付税として確実に措置することとなっています。

解説

(1) 北九州市の市債残高について
臨時財政対策債を除いた平成24年度末残高は7,728億円で近年は7,000億円台で推移しています。(P6「市債残高の推移(一般会計)」参照)

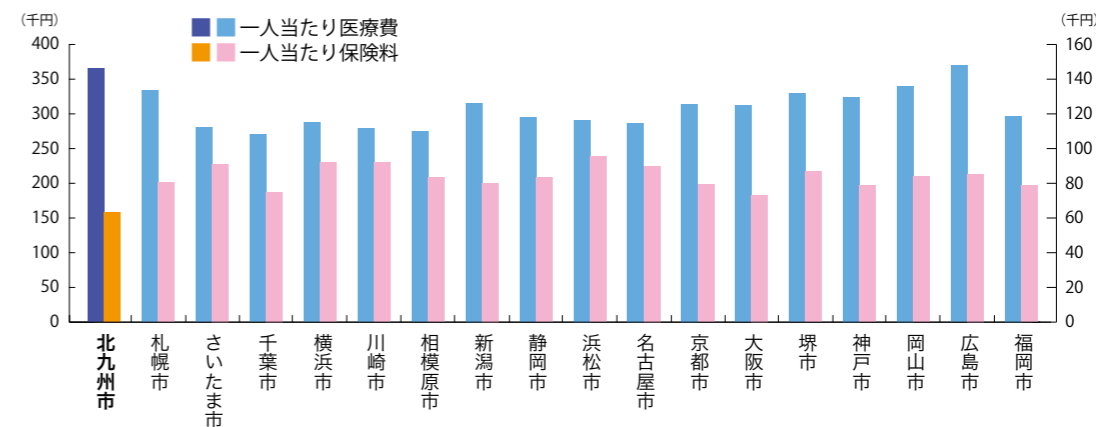


Q3. 北九州市の国民健康保険料は他の自治体より高いのですか？

A3. 北九州市の国民健康保険は、高齢化が進んでいることや大都市であることにより医療機関の数が多く充実していることから、「一人当たりの医療費(37万円)」が政令市の中で二番目に高くなっています。このため、本来であれば「一人当たり保険料(6万3千円)」も高くなるはずですが、一般会計からの繰出金(平成19年度から平成25年度の7年間で、一般会計繰出金の合計額(予算)は約905億円)などにより、一人当たり保険料は政令市の中で低水準を維持できています。

なお、繰出金には保険料軽減の補填や、出産育児一時金分、国保財政の安定化及び保険料の平準化のための費用なども含まれます。

【被保険者一人当たりの医療費と保険料 政令市比較】



※平成23年度決算より算出



Q4. 生活保護について。本当に助けが必要で困っている人はちゃんと保護できているのですか？
一方、不正受給防止や自立支援などの対策も必要だと思いますが、どう対応しているのですか？

A4. 本当に助けが必要で困っている人を保護するために、全ての相談者に申請の意思を確認し、保護を廃止する際には自立の目的を確認するなど保護の入口と出口の丁寧な対応を徹底しています。

また、不正受給防止のため、「課税調査」など調査を徹底しています。悪質なケースには警察OBの対策員を活用し、警察への相談や告訴等を実施しています。

生活保護受給者の自立支援のために、実効性のある就労支援として「キャリアカウンセラーや求人開拓員等の配置」、「就労体験事業」など個々の状況に応じたきめ細やかな対策を実施しています。

その他、保護の適正な実施のため「長期入院患者の退院支援」、「診療報酬明細書の点検強化」、「後発医薬品の使用促進」等にも取り組んでいます。



Q5. 一般会計と特別会計の違いを説明してください。

A5. 一般会計は地方公共団体の会計の中心をなすものであり、地方公共団体の行政運営の基本的な経費を網羅した会計です。(P4『用語解説※2【一般会計】』参照)
特別会計は、特定の事業を行うため、特定の歳入・歳出を一般会計と区分して処理するための会計です。

一般会計			主な特別会計	
福祉 	教育 	道路整備 	●国民健康保険 ●介護保険 ●後期高齢者医療 ●学術研究都市 土地区画整理	●公債償還 ●競輪、競艇 ●港湾整備 ●廃棄物発電 など23会計
他				



Q6. 新球技場が建設されることになりましたが、新たな大型施設の建設は市の財政に大きな負担となりませんか？

A6. 新球技場は、市民に夢と感動を提供するとともに、北九州市の顔（シンボル）となるような市民が誇れる施設を目指して、小倉北区浅野に建設することが決まりました。
新球技場のような高規格・大規模な施設ができることにより、本市のスポーツ振興につながるとともに、若者をはじめ多くの市民が集まり、街ににぎわいを生み出すきっかけとなるなど多くの効果が期待されます。
現在※1 予定されている建設費は約 89 億円であり、そのうち市の実質的な負担額は、スポーツ振興くじ(toto)※2助成金 30 億円を除いた 59 億円です。これについては、市債等で賄うことにしています。
市債を活用する理由は、一般的に公共施設は長期間にわたり使用するため、「建設費用は現世代だけでなく便益を受ける将来世代にも分割して負担してもらうのが公平である」とする「世代間の公平」という考え方に基づくものです。(P6「そもそも、どうして市債を発行するの?」参照)
市債は 30 年で返済する予定で、毎年度の返済額は、公債費全体の 1%以下と見込んでおり、大きな割合ではないと考えています。

※1 … 平成 25 年 9 月時点

※2 … スポーツ振興くじ助成金は、toto の販売により得られる資金をもとに、地方公共団体などが行う、スポーツの振興を目的とする事業に対して行われます（独立行政法人日本スポーツ振興センター所管）。



Q7. 予算はどうやってできるのですか？

A7. 「予算」とは、地方公共団体の一会計年度内（4 月～ 3 月）における政策や事業の内容を、収入支出の見積もりとして表したものです。北九州市の予算は、次のような手順で作られています。

